

エイダイ  
永代ハウス

「四季の家」  
佐世保  
展示

HOUSINGREPORT  
by way of example

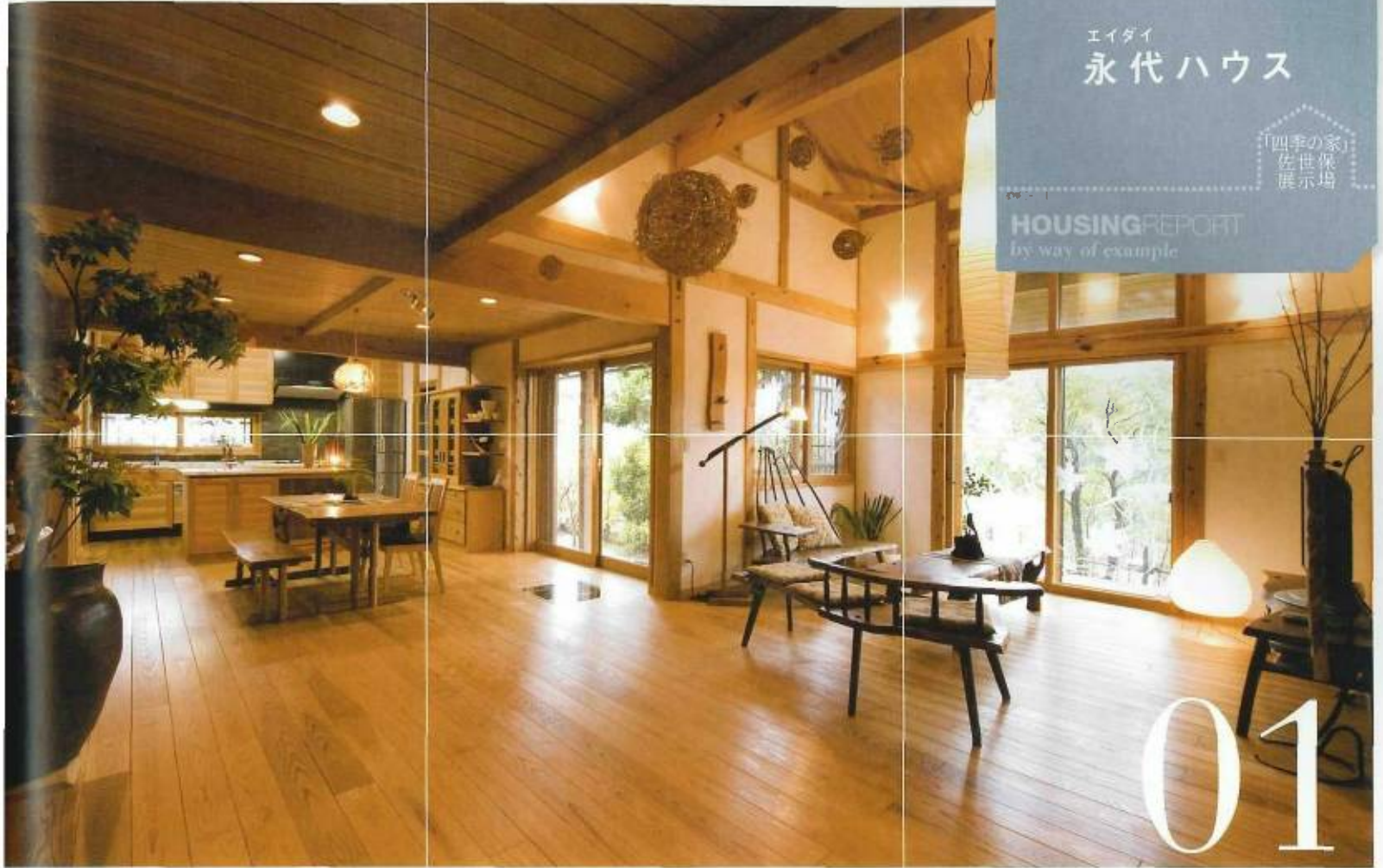
01

古くならずには深くなる  
自然素材にこだわり、昔ながらの木組みでつくる家  
自然の力を最大限に活かした「夏涼しく冬暖かい家」

エアバス工法の特性は、機械を一切使用しない自然の力を利用した壁体内通気工法。空気が、床下換気口から越屋根換気口へと壁体内の空気層を通過して放出されることで、夏は涼しく、冬は換気口を閉じ、暖められた空気が家をまるごと包み込み、暖かい環境を作り出す。

この家のもう一つの特徴が「木組み工法」である。金物を使わず、木と木を削ってかみ合わせることで固定する木組みの技には、高度な職人の腕が必要とされる。

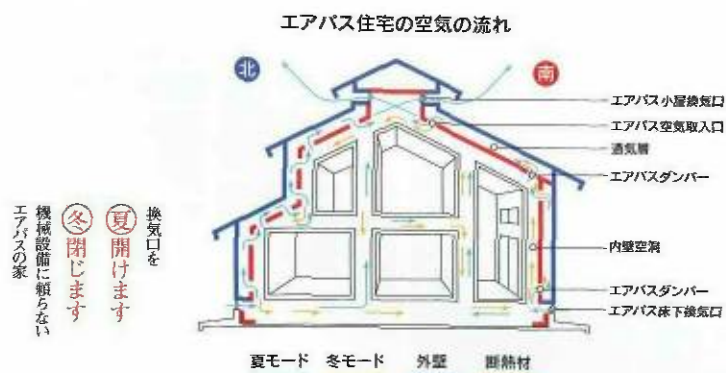
また、永代ハウスは県内で唯一オールアース住宅も推奨。これは、電磁波が人に与える影響に着目したものの。地面に打ち込んだ金属棒を通して、電気の逃げ道をつくり(アースとして)過剰な電磁波の影響を受けないようにするというものだ。オールアース施工費は坪12000円。



06



## 夏と冬で衣替えするエアパスの家 子供が健やかに育つ暮らし



### CLOSE UP!

01 廊下のない間取り。全員参加型のアイランドキッチンが、笑顔溢れる家族の姿が浮かぶ 02 総枠づくりの風呂。独特の香りは心地よいバスタイムを約束してくれる。 03 生活に広がりとふれあいを生む2F中央の共用スペース。おもちゃ部屋としても楽しい空間に 04 雲仙火山石を敷きつめた土間。手水鉢や昔ながらの吉野窓が純和風の雰囲気演出 05 沖縄ウラジオガシの家具など、木の良さを感じられる地元作家による手作り家具も販売

私がココに  
決めた理由

POINTS of CHOICE

### エアコンなしで快適を実感

体験宿泊展示場に泊まって、エアパスの良さを実感。機械を使わない、日本の気候風土に合わせた家づくりで、一番びっくりしたのは冬は薪ストーブひとつで家全体が温まるし、夏はクーラーなしで過ごしています。暑さ寒さは、家のつくりの問題だとエアパスのすごさに感動しています。(Sさん 45歳 医師)

# 01

## リビングが中心の 家族が集まる「四季の家」



減らした広がり  
のある間取りは、  
どこに行くにも  
必ずリビングを  
通ることになり、  
家族の距離を縮  
める効果をも生  
む。

永代ハウスでは「日本の気候風土や生活習慣に合うのは木の家」という考えのもと、家づくりに取り組んでいる。

ここ「四季の家」では、杉の無垢材や、珪藻土といった吸湿性の高い自然素材を使用。熟練の職人が腕をふるった木組みの伝統技術は、見た目に美しく頑丈で住む人に安心感を与えてくれる。また、エアバス工法を組み合わせたことで、冬温かく、夏涼しい、理想に近い心地よい住まいが実現した。

永代ハウスの家づくりの基本は、リビングが中心にあること。玄関のすぐ隣がリビングルームというのが特徴だ。大きな窓から差し込む優しい光と、2Fへの吹き抜けが開放的な印象を与える。また、廊下を作らず、間仕切りを出来るだけ減らした広がりのある間取りは、どこに行くにも必ずリビングを通ることになり、家族の距離を縮める効果をも生む。

### CLOSE UP!

01 広い土間の三和土(たたき)と、漆喰の壁、一部を畳にした玄関ホール。昔ながらの玄関先でのおもてなしの場だ 02 雑木林をイメージした庭に計算された軒高でどっしりと落ち着いたスタイルと見る人を癒してくれる、無垢材を使用した街並みにとけこむ外観 03 年齢に応じて可変できる子供部屋。天井に交差した梁で、木組みの美しさをあらわしている

### BUILDER'S INFORMATION

## 永代ハウス

長崎県佐世保市松浦町4-17 TEL (0956) 23-7288  
<http://www.eidai-house.co.jp>

◎資料のご請求は、巻末のハガキをご利用ください。



代表取締役  
松村清一さん

### PRODUCER'S VOICE

私たちが提案しているのは「日本の伝統的な木の家」。古くなるほどに馴染み、温かみのある木づくりの家は、そこにいるだけでつるげるものです。また、結露やダニの心配も少なく身体にも優しい住まいといえます。当社モデルハウス「四季の家」は、佐世保と福岡にあります。是非お越し下さい。

# 健康住宅を提唱する住宅会社はあっても 「電磁波対策」に真剣に取り組む住宅会社はほとんどない。

電磁波とは、私達の周囲に溢れています。目には見えず、匂いもありません。しかし、生体バランスを崩す原因となり、健康に害を及ぼすと言われている厄介者です。現代の増え続ける電力消費に比例して、増加の歩をたどっています。シックハウス症候群やアレルギーのことを考え、自然素材の家を建てても症状が改善されなければ、電磁波の影響を疑ったほうがいいかもしれません。住む人に優しい住まいづくりを目指す永代ハウスからのお知らせです。

**結論**  
屋内配線を発生源とする電磁波(電場)の対策

建築物の至る所に張りめぐらされた屋内配線。その配線が生む電場が室内に侵入しないようにするためには、アースを取る必要がある。ならば一軒まるごとアースしてしまえ! という考えに基づいて、壁や天井、床などに導電性のシートを施行し、家ごとアースを取ってしまう。それがオールアース住宅なのです。

一般の住宅      オールアース住宅

**電気の「カゴ」の中で生活**  
日本国内における電気使用量は、この40年間で6倍になっています。

●20年前の住宅  
回路数: 6~8回路  
屋内配線: 150m~200m

●現在の住宅  
回路数: 20~36回路  
屋内配線: 800m~1200m

私達は電気の「カゴ」の中で暮らしているといってもよいのです。電化製品のコンセントを抜いても、電圧が常にかかっている屋内配線からは、絶えず電磁波が発生しています。これはもう一軒まるごとアースを取る以外にその影響から逃れることはできないと考えました。

**家を丸ごとアースする!!**

**電磁波ってどうやって避けられるの? ~三口コンセントが有効~**

①家電製品の距離をおくこと。→狭い室内に家電が溢れる日本では難しい。  
②アースをとる。→電気製品から電気の逃げ道を作ってあげる。  
しかし、それでも電磁波の危険性があります。それは壁や天井の屋内配線です!!

●日本のコンセントの形状

主流(アースなし)      一部(アースあり)  
(洗濯機・冷蔵庫用)

欧米で一般的な三口コンセント      日本で標準の二口コンセント

**家電製品がないのに電磁波?怖い!!**

**健康を蝕む電磁波**  
~人は対外的な電気の影響を受けやすい~  
電気のあるところに電磁波あり。現代の私達の生活に電気は欠かせません。成り立たないといってもよいでしょう。コンセントにつながれたほとんどの家電製品からは、電磁波が発生していると考えてよく、近年の研究では、それが心と体の健康に少なからず影響を与えている事がわかっています。人間に限らず、すべての動物の体内には微弱な電気信号が流れており、あらゆる器官や組織を動かしています。そして、100Vの電圧が供給されている日本は、海外諸国よりも多くの電磁波が発生しているのです。

欧米      日本

**あなたの側にも電磁波が溢れています!!**

※ここでいう電磁波とは、電場(極低周波)を指しています。

「永代ハウスの特別番組」  
「快適な住まい環境を目指して」  
~永代ハウス・オールアース住宅への取り組み~  
12/23 NCCにて放送されました。

電磁波過敏者って  
ご存じですか?

40年間で電気の消費量は6倍!!安全・安全・快適な住まいに今、電磁波対策は必要不可欠!!

ご希望の方へ  
プレゼントいたします。  
TV放送された内容を収録した  
DVDを差し上げます。  
※数に限りがございます。

永代ハウスは、オールアース住宅<sup>®</sup>と  
エアパス工法の普及に取り組んでいます。



「このお家に越してきて、アトピーがかゆくなくなりましたよ。お母さん。」  
そんな声のする笑顔の絶えない住まいです。

続々と届く喜びの声

大村市 Y様

エアパスと珪藻土の壁で、湿度や、においもこもらず快適に過ごせます! 家の無垢木も心地良い!!

大村市 S様

職人さんの腕とエアパスがマッチして、素晴らしい空気に、心も体も癒されています。

五島市 S様

冬は薪ストーブで暖かいです。夏はクーラーの稼働で、暑が過ぎる人が、山あそびを楽しんでいます。

長崎市 Y様

部屋の隅々まで自然素材の光沢が、お部屋の雰囲気を演出しています。休みの日に家族で過ごすのが、とても楽しいです。